



資源ステーション

～キレイにはワケがある VOL.3～

新しいごみの収集方式がスタートして1年が経ちました。「ごみ」と「資源物」をきちんと分けることで「燃やすごみ」が20%減り、資源ステーションの奨励金は各町内会がまちづくりに活用しています。

シリーズ第3弾は海辺の町内会、諏訪町町内会の取り組みをご紹介します。

<第3回 諏訪町町内会>

Q. 資源ステーションの収集がスタートする前に町内会として準備したことはありますか？

A. 諏訪町には別荘がいくつかありますので、戸別訪問をして、資源ステーションは資源物を出す場所であることなどを説明しました。それと、町が主催した説明会とは別に、環境課の職員さんをお呼びして、諏訪町の住民を対象にした説明会を開きました。

Q. 資源ステーションの看板や注意の貼り紙は諏訪町のオリジナルですか？

A. そうです。副町内会長の小峰さんの手作りです。廃材を利用して材料費は千円くらい。収集カレンダーは字を大きく、カラーにして見やすく作り変えました。

Q. 資源ステーションのコンテナもきれいですね。

A. 厚生委員の方が天気の良い日にコンテナBOXを広げて干してくれているおかげです。中を洗わずに出された缶やびんの汁で、コンテナBOXが汚れてしまうことがあるので助かっています。



諏訪町町内会長 角田さん

Q. 資源ステーションになって良かったことはありますか？

A. 以前は、カラスがごみステーションのネットの間から生ごみを引っ張り出して、ぐちゃぐちゃにすることがあり困りましたが、それがなくなって



ウラに続く！⇒

良かったです。分別していないごみや粗大(有料)ごみが出されることも減りました。



海に臨む美しい町並み

Q. 困っていることはありますか？

A. 出しまちがいで置いていかれるごみがあります。自分が出したものは後で見に来て確認し、置いていかれたら引き取り、出し直してもらいたいです。また、花火大会やバーベキュー(特に土日)の後にごみを置いていく人がいて困ります。*今年も大変でした。

Q. 奨励金の使いみちは決まっていますか？

A. これから町内会で正式に決めますが、住民のみなさんの協力があるおかげなので、諏訪町町内会の行事に使いたいと思っています。*年初めの「どんど焼き」や新年会、秋のレクリエーションを予定しています。

(※このインタビューは平成26年12月に行われたものです)

インタビューを終えて

諏訪町町内会は海岸に面した小さな町内会です。葉山で代々暮らしてきた住民の方も多く、地域への愛情を強く感じました。地域を大事にする気持ちが資源ステーションの使い方に表れていますね。



スムーズな戸別収集に協力しましょう！

■小袋がいっぱいだと、1回じゃ持ちきれない…

もちきれない

むすぶ

● 袋の持ち手 どうしを結ぶ。 ● 大きな袋に ひとつにまとめる。

■たくさんのごみ箱を並べていると、一つ一つ確認しないといけないので時間がかかる…

どれだ？

● 収集日のごみ箱は、分かりやすく出す。

■ごみ袋をそのまま出すと、カラスなどの動物に荒らされる…

大変だ…

カァー

ごちゃごちゃ

● フタ付容器に入れると安心。

※ごみ箱に重しを入れる場合、レンガやブロックだと袋が破れてしまいます。2リットルのペットボトルに水を入れるなど袋が引っかからないよう工夫しましょう。

「ごみっぺらし通信」お問い合わせ先：環境課 (876-1111 内線451)

町のホームページからでもご覧いただけます。

ごみっぺらし通信

検索

「ペ」のバックナンバーあります。欲しい方は環境課まで☆